

プロジェクト代表者

社会情報学科 教授 平沢 尚毅

研究テーマ

ニセコ地区における中長期滞在型観光客のモビリティに関する研究（1）
ー観光客行動に関する基本調査ー

研究実績の概要

本研究では、ニセコ地区に訪れる外国人観光客が新たな観光体験を促進するためのモビリティサービスを観光客のニーズに合わせて構想するために、観光客の行動実態を調査することから始めた。

調査を分析した結果、観光客の行動傾向には、現地での生活を重視するパターンと訪問する観光地を拡げてゆこうとするパターン、さらに温泉を楽しむというパターンがあることがわかってきた。また、それぞれのタイプは利用する主な移動手段も異なっていた。また、行動のために利用する情報も異なっていることもわかってきた。

これらの行動パターンは、従来の観光中心の観光客行動とは違ったものであり、新たなモビリティサービスを提供する可能性があることが示唆された。

プロジェクト代表者からのコメント

日本の観光地では、従来のタイプの観光者に対して AR システムの利用や O2O サービスなどの新たな技術による観光支援システムが実証実験されています。さらには、電気自動車向けのインフラ整備が進められており、国内のいくつかの観光地において設置されるようになっていきます。

しかしながら、これらは、観光中心の観光客向けのものであり、今回、明らかになった生活を重視するタイプの観光客向けではありません。ニセコ地域には、私たちが『観光』として考えていたタイプとは異なる行動をとる外国人観光客がいることを再認識しました。

本プロジェクトでは、今後、こういった行動タイプの観光者向けにモビリティサービスを構想してゆく方針を決定しました。